

令和5年度 第6学年 学年経営案

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで学び、心身ともにたくましく生きる西原の子どもを育てる。

めざす子ども像

〔やさしく〕

気持ちよいあいさつをする子
自分と友達のよさが分かる子

〔かしこく〕

よく考え、進んで学ぶ子

〔たくましく〕

楽しく運動し、目標をもって 体力・
気力の向上に最後までがんばる子

第6学年経営

学年経営目標	学級相互の連携を図りながら、心身ともに健康でたくましく、自らよく考えて行動する子どもを育てる。	
学年重点目標	1	前向きに明るく希望をもって生活し、友達を思いやることができる子どもを育てる。
	2	運動することの楽しさを味わうとともに、体力・気力の向上に努め、何事にもめあてをもって、ねばり強く取り組むことができる子どもを育てる。
	3	基礎学力を身に付けるとともに、自ら進んで学び、学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てる。
	4	子どものよさや出来事などの情報を積極的に発信するとともに、保護者からの情報を真摯に受け止め、信頼関係を構築する。
学年経営の具体策	Ⅰ 豊かな心と健やかな体	1 週1時間の道徳の授業と年間指導計画に基づいたキャリア教育を充実させるとともに、事前事後の子どもの変容を見届け、一人一人に自らの成長を実感させることができるようにする。
		2 学校のリーダーとしての責任の自覚を促し、係や委員会の仕事、ボランティア活動などに責任をもって取り組むことができるようにする。
		3 全児童と計画的に教育相談を実施し、一人一人の心に寄り添いながら、課題解決に向けて支援することができるようにする。
		4 「早ね・早起き・朝ごはん」や「ハチツボネブ」など、子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、声かけや確認に努める。
		5 体力・運動能力の向上や心の健康維持をめざして、朝の体力づくりや昼休みの外遊びを奨励する。
		6 危険予知能力を高めるために、交通安全教室や集団下校訓練などの安全に関する行事の事前・事後指導を充実させる。
	Ⅱ 確かな学力と個性の伸長	1 一単位時間の授業(めあて～完結する授業)を充実させ、子どもに基礎的・基本的な内容を習得させるとともに、「できた・わかった」という達成感を味わわせることができるよう授業力向上に努める。
		2 読書好きな子どもを目指して、朝読書の時間や国語科の授業を充実させ、音読の習慣化を図る。
		3 子どもが「与えられた課題」をこなすだけでなく、「自ら考えた内容」を家庭学習に取り入れることができるような手立てを講じ、家庭学習の習慣化を図る。
	Ⅲ 信頼される学校づくり	1 学級通信や家庭訪問、学級PTAなどで、学校や学級の経営方針についての理解を促し、子どものよさや状況について話し合いをしながら、ともに支援することができるようにする。
		2 全保護者と計画的に教育相談を実施し、相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、子どもの望ましい成長に向けて支援することができるようにする。
		3 PTA行事や地域行事等へ積極的に参加するとともに、子どもの地域行事等への積極的な参加を呼びかけ、子どもに学校が地域の方に支えられていることに気付かせる。